



「学ぶ」は「実践」から

地域で学ぶ大学生を応援

「大学ゼミ合宿支援事業補助金」 「地域課題解決調査研究事業補助金」 補助金制度のご案内

鳥羽をフィールドにまちの魅力や地域課題に直接触れて課題解決に取り組む大学ゼミ合宿や調査研究を支援します。

補助メニュー①
大学ゼミ合宿宿泊補助
1人1泊2,000円

補助メニュー②
地域課題解決調査補助
最大10万円補助

三重県鳥羽市
伊勢志摩国立公園

※各年度において予算に達した時点で申請受付は終了します。

海女と真珠の ふるさと鳥羽

海に関する観光研究、
教育施設が多く立地する鳥羽

鳥羽市の概要

三重県東端部の志摩半島北部に位置し、伊勢湾と太平洋・熊野灘に面しており、市域は、4つの有人離島と半島部から構成されています。明治26年には御木本幸吉が世界で初めて真珠養殖を成功する偉業を成し遂げ、昭和21年には市全域が伊勢志摩国立公園の指定を受けるなど、人々は海と共にいき、自然に寄り添いながら暮らしています。また、海岸部は古くから豊かな漁場となっており、2000年以上前から続く海女漁をはじめとして多様な漁業が続けられています。

鳥羽市には海岸線沿いに海に関する観光施設や教育研究機関が多く立地しています。海洋教育やSDGsなど社会課題解決のためのフィールドに適した地域です。また、宿泊施設が約130軒と充実していることから、修学旅行など教育旅行で訪れる学校も多く、鳥羽市は伊勢志摩地域の学びの拠点としての役割を果たしています。

伊勢志摩地域の学びの拠点 主な施設紹介

①鳥羽水族館

飼育種類数が約1,200種で日本一の水族館。日本で唯一ジュゴンを飼育している水族館。生物に関する研究や社会教育活動として生物や自然環境への理解を進めるために修学旅行生を対象としたセミナーを開催。

②ミキモト真珠島

御木本幸吉が1893年(明治26年)に世界で初めて真珠養殖に成功した島。海女の実演の見学や真珠の歴史がわかる真珠博物館や御木本幸吉の生涯を紹介する御木本幸吉記念館などがある。

③三重大学水産実験所

海洋環境や海洋生物等に関する学生の実習や教員・学生の研究を行う施設。また、イセエビやアワビ類の海洋生物の資源生態学的研究や水産に関する情報科学、水産資源の有効活用に関する研究とともに海女漁業を支援する取組や地域での連携活動等の実験所独自の活動を行っている。

④名古屋大学菅島臨海実験所

5つの研究チームが連携しながらマクロ生物から有機化学まで様々な視点から海洋生物学研究を推進している。

⑤国立鳥羽商船高等専門学校

明治時代の教育者である近藤真琴が創設。創立以来日本の産業界の変化に対応し続け、現在は商船学科と情報機械システム工学科の2学科体制。人間力にあふれた創造性豊かで国際的に通用する高度な実践的技術者の育成を行っている。

⑥鳥羽市水産研究所

特に海藻養殖のための技術開発、地域や海洋生物の観測を行うとともに黒ノリとワカメの種苗生産販売を行う。重要な水産資源を含む沿岸における生物や海藻の分布調査や海洋教育や研修を行っている。

⑦鳥羽市立海の博物館

海女や漁、木造船など海に関する約6万点以上(内6,879点が国指定重要有形文化財)もの民俗資料を所蔵する博物館。建物は日本建築学賞や公共建築百選にも選ばれている。貝殻や海藻など海にちなんだ体験メニューも充実している。2018年に館内に三重大学海女研究センターが設置されている。



TOPIC 「鳥羽のSDGsまなブック」



SDGsを進めるにあたり必要な要素である「社会を支える」「経済の循環」「環境を守り、活かす」の3つの柱に鳥羽で体験できプログラムを紹介した冊子です。鳥羽市観光協会のHPから閲覧が可能です。



鳥羽市観光協会
ホームページ



鳥羽水族館



ミキモト真珠島



鳥羽市水産研究所



鳥羽市立海の博物館

鳥羽をフィールドにした研究テーマ

地域で実践的に学習する最適な舞台！
鳥羽ならではのテーマや地域課題が豊富。

この他にも鳥羽には
研究テーマが
たくさんあるよ！

地域振興 ～課題を強みに変える～

日本全国で人口減少や少子高齢化問題が課題となっていますが、鳥羽市も例外ではありません。総務省の地域おこし協力隊の制度を活用し、地元住民と連携した地域の魅力の掘り起こしや新たな切り口での地域振興など鳥羽ならではの地域振興に取り組んでいます。



自然環境 ～美しい海を次世代に～

リアス海岸による入り組んだ海岸線や4つの有人離島など特徴的なまちです。有人離島のひとつである答志島には伊勢湾から流れてくる漂着ごみが大きな問題となっています。ボランティア団体などの協力による清掃活動やSNSアプリ「ピリカ」による清掃活動の見える化を行っています。



観光振興 ～持続可能な観光～

豊かな自然に恵まれた伊勢志摩地域に位置する鳥羽市は、宿泊施設や観光施設が豊富立地する観光地です。また、自然や歴史文化を楽しむエコツーリズムや誰もが楽しめる観光地を目指し、バリアフリー観光などに取り組んでいます。



水産振興 ～四季を通じて海の恵み～

四季を通じて豊富な種類の海の幸が獲れるまちです。ワカメや黒のり、ヒジキなどの海藻が豊富に採れ、素潜りで獲物を獲る海女が日本一多いことで有名です。また、答志島トロさわらは漁師の誇りによりブランド化された鳥羽を代表する魚です。



歴史文化 ～海城「鳥羽城」～

戦国時代に織田信長や豊臣秀吉に仕え、天下統一という日本の歴史に深くかかわった水軍の大將「九鬼嘉隆」によって鳥羽城が築城されました。現在は石垣のみが残っています。海側に大手門が開き、堀にも海水をめぐらせて四方を水で囲んだ全国的にも珍しい海城でした。



SDGs ～海女文化から学ぶ～

鳥羽は2000年以上も前から海女が行われてきた地域です。海女漁はアワビ等の産卵時期を避けた漁期を設定することで海の資源を守るなど、自然と人が共存する象徴的存在だと言えます。海女小屋体験では、海女の話聞きながら、海の幸を堪能することができます。



	補助メニュー① 大学ゼミ合宿支援事業補助金	補助メニュー② 地域課題解決調査研究事業補助金
補助対象	<ul style="list-style-type: none"> 大学ゼミ合宿(大学等の生徒や教授等が集まって行う合宿) 1回における宿泊人数が5人以上 教授等の引率する合宿 	<ul style="list-style-type: none"> 大学等に所属する学生団体又は教授等
要件	<ul style="list-style-type: none"> 鳥羽市内の宿泊施設に宿泊する合宿であること 国、都道府県または地方公共団体等からの補助を受けていないこと その他、交付要綱に定めるもの 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥羽市内の地域課題の解決に向けた解方策の提言または具体的な研究を行う事業 国、都道府県または地方公共団体等からの補助を受けていないこと その他、交付要綱に定めるもの
補助対象経費	宿泊費 ※提出書類として宿泊先の領収書のコピー必要	報償費、旅費、需用費(食糧費は除く)、役務費、委託料、使用料及び賃貸料、原材料費 ※領収書のコピー必要
補助金額	1人1泊2,000円 1団体あたり上限200,000円	補助対象経費に対して100,000円まで ※千円未満は切り捨て
その他	<ul style="list-style-type: none"> 補助金額範囲内であれば連泊も補助対象です。 ゼミ合宿の内容や結果がわかる資料を提出ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究の結果がわかる資料を提出ください。

※「大学等」とは大学、短期大学、高等専門学校及び専門学校のこと。「教授等」とは大学等の教授、准教授、講師、助教及び助手のこと、また「学生団体」とは主に国内の大学等の学生で組織する団体、ボランティア団体のことです。

※補助メニューの詳細は補助金の申請様式等は鳥羽市ホームページをご確認ください。

※1団体につき1年度1回までとします。

※補助メニュー①、②を併用は可能ですが、補助対象経費の重複は禁止です。



大学ゼミ合宿支援事業補助金



地域課題解決調査研究事業補助金

補助金の手続き主な流れ

申請者

①補助申請書類提出

申請受理
補助決定

②ゼミ合宿や調査研究の実施

③実績報告書類等提出

補助額確定
補助金支払

鳥羽市

- 補助申請や実績報告に関する資料は鳥羽市ホームページを参照ください。
- 補助申請は実施2週間前までを目途に補助申請を行ってください。
- 人数や内容に変更が生じた場合変更申請が必要となります。
- 予算が無くなり次第申請受付は終了となります。

アクセス

航空機・列車でお越しの場合  



車でお越しの場合 



宿泊先などのご相談

鳥羽市観光協会 (鳥羽市大明東町 1-7)
☎0599-25-3019 FAX0599-25-6358

補助金の手続きについて

鳥羽市役所観光商工課 (鳥羽市鳥羽 3-1-1)
☎0599-25-1157 FAX0599-25-1159